

2024年6月13日

## 第55期中央労働講座を受講して

北海道地方釧路支部

川奈部 若之

6月6日～8日の3日間で豊橋のシーパレスにて第55期中央労働講座が行われました。受講人数は27名で私自身も初めて参加させていただきました。

1日目は15時より開講式が行われ、鈴木誠一中央執行委員長の挨拶から始まり、その後「組織運営について」という題目で鈴木龍一副委員長から最初の講義を受けました。労働組合の組織力を高めるためにはどうすべきであるか、労働組合の役割、リーダーや幹部はどうあるべきであるか等、様々なことを学びました。

2日目には初めに鈴木誠一委員長より「全国港湾の成り立ち」の講義を受けました。全国港湾だけでなく、全港湾の歴史にも触れていただき、戦後の港湾労働や組織の結成、諸先輩方が勝ち取ってきた要求の歴史等、多くを学びました。その後、畠山副委員長より「労働基準法」の講義を受けました。労働基準法という言葉は知っていましたが、内容は知らない事ばかりで自身の知識の少なさを痛感しました。講義の中で賃金の計算方法を自ら考えたり、○×形式の問題があったりと楽しく学ばせていただきました。

1日目と2日目の講義終了後には、4班に分かれてグループ討論の時間が設けられており、第一講座と第二講座を受けての意見では、これまで先輩たちが引いてくれたレールの上を走り、今後も引き継いでいくことはもちろん大事であるが、その時代にあったやり方をしていく必要があること、組合活動が行いやすい環境づくり、組合の楽しさを伝えていく活動を続けていくことが大事である等、様々な意見が出て、自身の地方でも当てはまることも多く、とても参考になりました。労働基準法の講座については、知識を身につけることで武器になり労働力に繋がるということ、クイズ形式の問題はとてもためになり、組合員への学習の最初のきっかけとして良い手段を知ることができました。支部・分会に持ち帰り、参考にさせていただこうと思いましたがグループの全員が同じ意見でした。

最後に、第55期中央労働講座を受講された27名の皆さん3日間お疲れ様でした。グループ討論や2日目のレクリエーションのドッジボール、夜の懇親会では普段なかなか話すことができない他の地方の方々と親睦が深められ、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。また、講師を務めていただきました鈴木誠一委員長・鈴木龍一副委員長・畠山副委員長、そして司会進行・準備を行って頂きました松永書記長・松田書記の皆様、大変ありがとうございました。